

ペーパーフラワー

陶芸作品

七宝焼 などなど

# ほのぼのとした 力作がズラリ

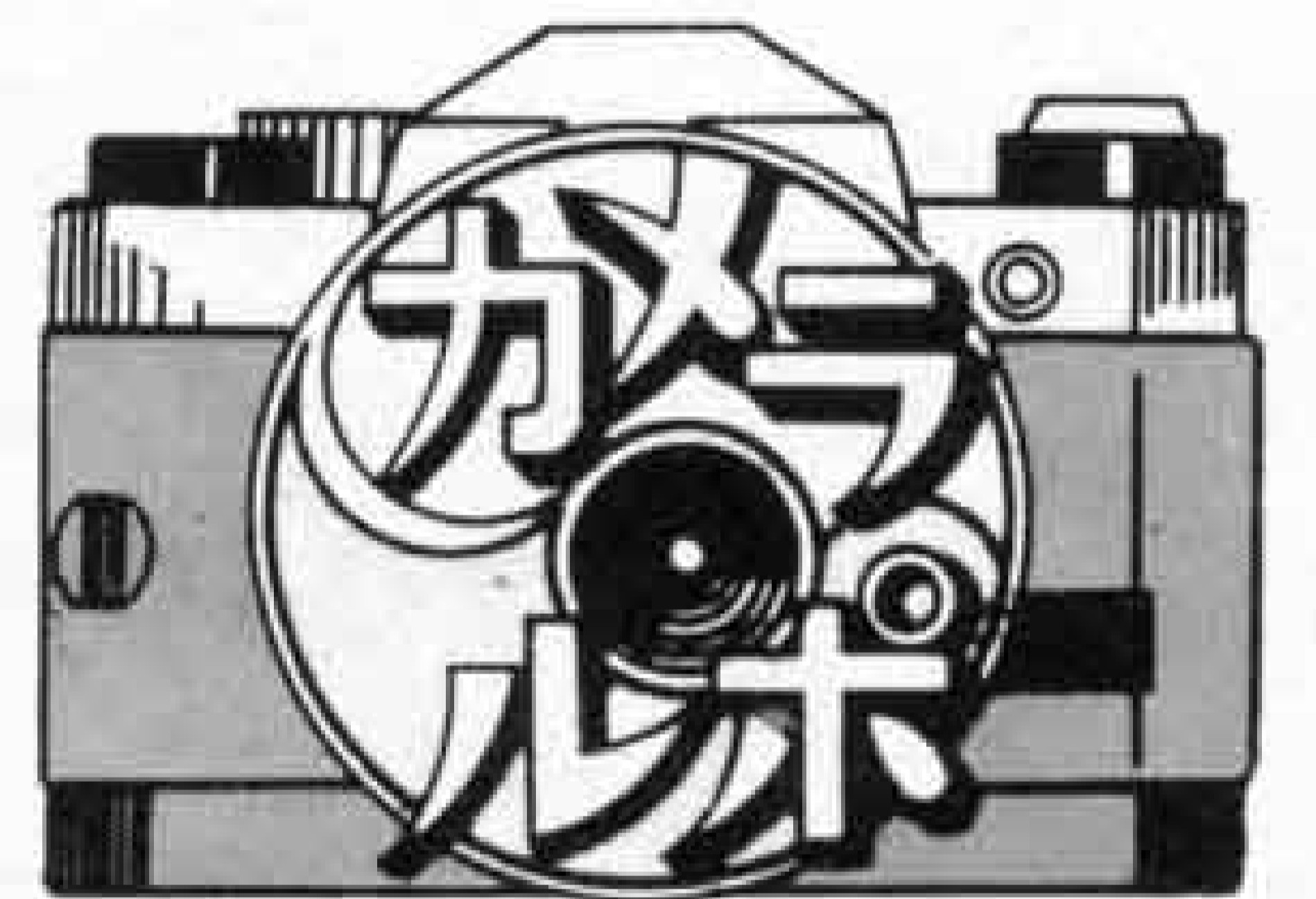


▷パズルコーナーもありました

三月十日〜十三日、精神薄弱者の授産施設「市立くすの木学園」の第十回作品展即売会が、富士駅前パピーで開かれました。  
作品は「くすの木」ブランドで有名になつてきたトイレットペーパーを初め、皿や花びんなどの陶器、流木を磨いた置き物など盛りだくさん。毎年、作品展を楽しみにしているファンも多く大盛況でした。



◁いずれも秀作、目移りします。



市立博物館第二十回企画展

## 「富士川水系の手漉和紙」

五月二十一日まで開催



みつまた  
▽三極など紙の材料を蒸したかま(模型)



◁駿河半紙の歴史もよくわかります

市立博物館で「富士川水系の手漉和紙」展が開かれています。会場には、大人の身長よりも大きい蒸しがまやすき舟、すのこなどの道具、作業工程を記した古文書など約二百点が展示され、富士川流域に発達した手すき和紙の歴史を再現しています。なお、毎週日曜日の午後は、実際に和紙をすく体験コーナーも設けられています。

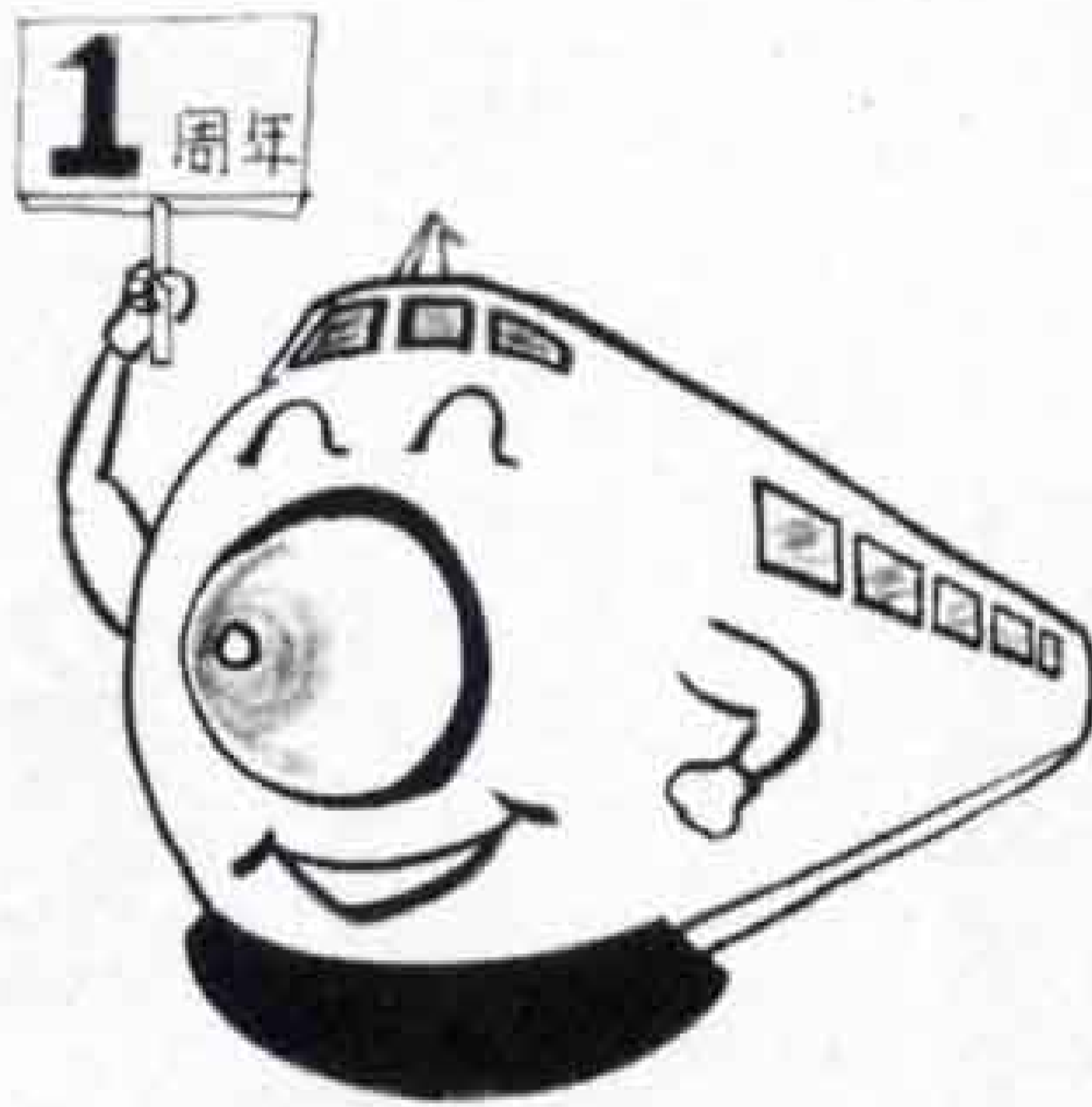


△大人も子供も喜んだ富士登山ゲーム

# ハッピー バースデー 新富士駅

一日約一万二千人の乗降客など順調なスタートを切っている新富士駅が、開業一周年を迎えました。  
三月十二日、これを記念して

ステーションプラザFUJIIで太鼓の競演や鉄道模型の運転、ゲームなどが行われ、多くの市民が新富士駅の誕生日を祝いました。



△会場は終日にぎわいました



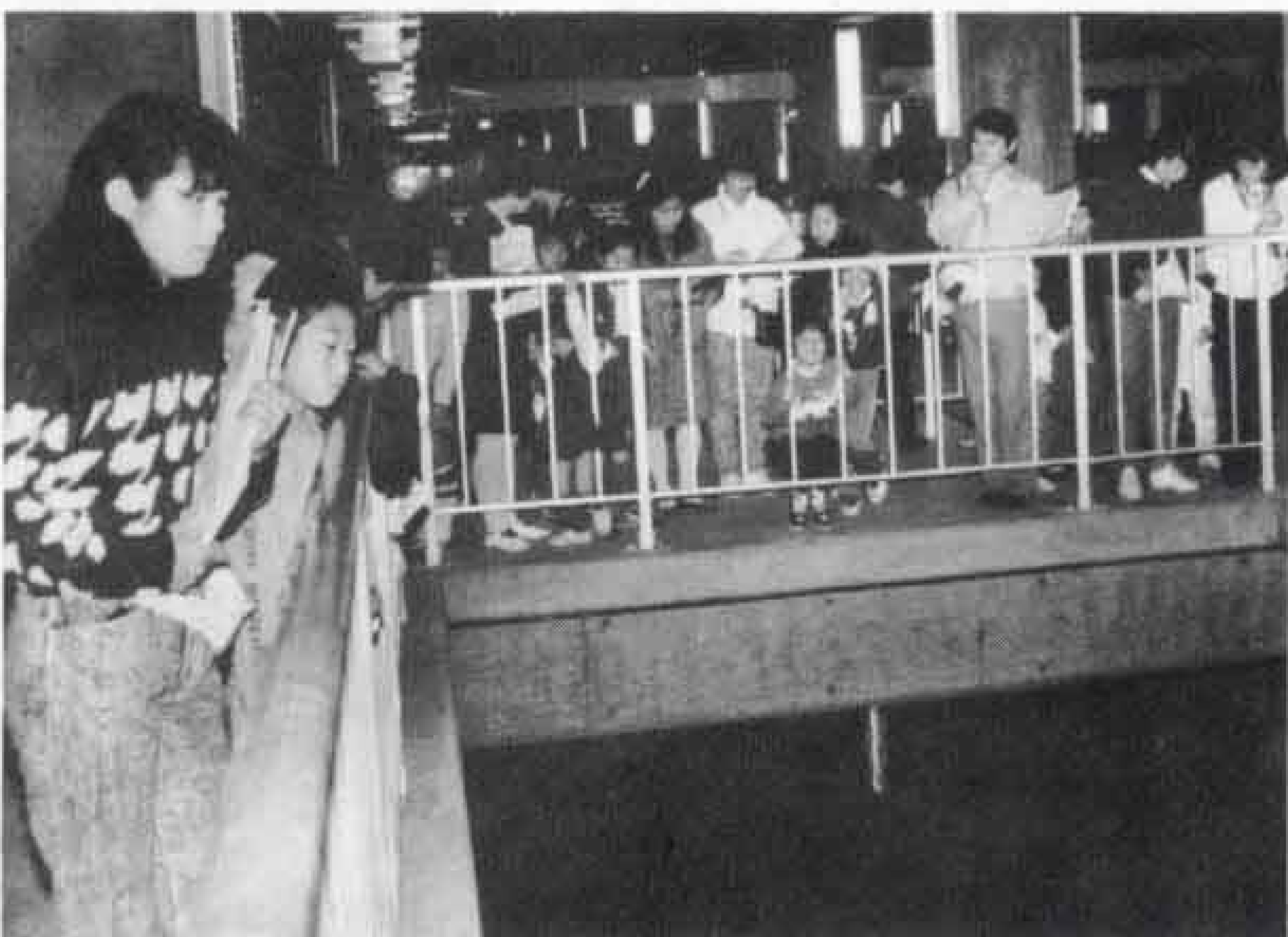
## 親と子の 市政教室

### ぼくは市政のものしり博士

三月二十三日、市の公共施設を見学して市政の勉強をする「親と子の市政教室」が行われました。参加したのは親子約九十人。参加者はふだん何げなく捨てているごみや下水の処理などを目の当たりに見て、公共施設の役割を改めて学びました。



▷レンジャー訓練に挑戦(中央消防署)



△汚れた水もきれいに (西部浄化センター)



△かぐや姫が記念品を配りました